

J Aあきた白神自己改革工程表（文書編）

J Aあきた白神は、令和元年度より、組合員との徹底した対話に基づいて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする「オール秋田で挑む組織・事業・経営改革」そして、その「実践」に全力で取り組んでまいりました。

そのような中、これまで、自己改革の取り組みとして、複合経営への推進による種苗費の助成、米直接販売による販売力の強化などの実践を進めてまいりました。

その結果、重点野菜の主要5品目において令和4年度は24.9ha増反し複合経営への期待が年々高まっております。また、准組合員からは、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。

今後ともJ Aあきた白神は、地域になくてはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本とした「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

1. 定期的な訪問活動を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
2. 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線での必要な取り組みについて、目標及び具体策の策定とあわせて実施し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「安心して暮らせる豊かな地域社会の実現」にも取り組みます。
 - ・複合経営化推進による青果物への誘導
 - ・予約生産資材の取扱い拡大によるコストの低減
 - ・農業資金の安定的な提供
3. 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、担い手への戸別訪問のほか、各種会議体における対話、外務デーを通じた意見聴取により、改革の評価を的確に把握し、意思反映を図ります。

また、地域に根ざしたJ Aを目指して、各種イベントモニターや支店運営協議会の仕組みを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJ A運営を実現します。

さらに、組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内の人口動向は減少傾向にあり、引き続き農業従事者の高齢化が進んでおります。農業生産額の減少に伴い、J Aあきた白神の販売品販売高は53億円前後で推移している状況です。

こうした情勢の中、J Aあきた白神として現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成り行きについてシミュレーションを行ったところ、令和7年度には事業利益が赤字に転じる見通しとなりました。赤字の主な要因は、超低金利政策や農中の奨励施設の削減により信用事業の収益減少が見込まれる中、営農経済事業の赤字額を信用・共済事業でカバーできなくなったことにあります。

販売力強化を通じた事業伸長や効率的な施設運営を通じた費用削減により、健全かつ効率的で持続性のある経営を確保することが喫緊の課題となっております。

JAあきた白神自己改革工程表（数値編）

重点目標

成果指標・目標値

持続可能な農業の実現											
複合化推進による青果物の割合向上				想定 農業所得	令和4年度		令和5年度	令和6年度			
令和6年度	米	青果物	<<10aあたり>> 米 40,000円 ↓ 青果物100,000円以	目標	実績		目標		目標		
	50%	50		米	青果物	米	青果物	米	青果物	米	青果物
				54%	46%	56%	44%	52%	48%	50%	50%
複合化推進による青果物の面積拡大				想定 農業所得	令和4年度		令和5年度	令和6年度			
令和6年度	306ha		販売額向上	目標	実績		目標	目標			
				300ha	302ha		303ha	306ha			
生産トータルコストの低減				想定 コスト低	令和4年度		令和5年度	令和6年度			
Webシステムによる予約生産資材の取扱拡大					目標	実績		目標	目標		
令和6年度	対象：組合員	70%	当用対比▲3.6%	60%	60%		65%	70%			
安心して暮らせる豊かな地域社会の実現											
農業資金提供(短期資金は除く)					令和4年度		令和5年度	令和6年度			
令和6年度	農業融資実行額累計額		単位：百万円	目標	実績		目標	目標			
			372	363	390		367	372			
目指す姿を実現する強いJAづくり											
営農経済事業の収支改善					令和4年度		令和5年度	令和6年度			
令和6年度	事業総利益		単位：百万円	目標	実績		目標	目標			
			799	819	848		792	799			
対話・意思反映											
項目				令和4年度計画	令和4年度実績		令和5年度計画				
正組合員との訪問・対話（人数）				3,500人	4,261人		4,000人				
准組合員広報モニター（意見提出人数）				-	-		30人				
集落座談会（回数、人数）				(2回、460人)	(3回、288人)		(2回、460人)				